

古市徹雄 最終講義

Towards Nature 新しい建築の地平へ

2001年千葉工業大学建築学科に着任された古市徹雄教授が本年3月31日をもって退職されます。古市教授はこの間、古市研究室の学生たちを率いて様々な研究や海外各地での実測調査、ワークショップ、国内外の多くのコンペに参加され、本の出版なども含めて多大な成果を挙げられました。13年間の月日はまさに疾走するプロフェッサー・アーキテクトであったと言えます。

私たちは今年度の建築都市環境学科レクチャーシリーズ最終回を古市徹雄教授最終講義として広く一般に公開したいと思います。

古市教授からは、「丹下事務所における海外経験、古市徹雄都市建築研究所としての作品づくり、大学研究室での膨大な活動を多くの画像で振り返り、講義というより今まで体験してきた様々なエピソードを交えながら楽しい話をしたい」というメッセージを頂いております。日本のメインストリームを歩んでこられた建築家の抱腹絶倒、波乱万丈の40年を貴重な映像とエピソードで辿るまたとない機会です。多くの皆さまに聴講いただければ幸いです。

3月15日(土) 14:00～16:00 (開場:13:30)
(懇親会:16:00～18:00)



古市徹雄

1975年 早稲田大学理工系大学院建設工学科修士課程修了

1975年 丹下健三都市建築設計研究所入所

ヨーロッパ、中近東、東南アジア、アフリカ、東京都新都庁舎コンペ等の都市・建築プロジェクトに参加。滞在・訪問した国は100ヶ国を超える。

1988年 古市徹雄都市建築研究所設立

1995年 日本建築家協会新人賞(佐世保パールシーセンター)、2001年アメリカ建築家協会賞(長崎県九品寺計画) 2003、2005年日本建築学会選奨(札幌六花亭ホール)、(那珂川水遊園)等を受賞

2001年 千葉工業大学工学部建築学科教授就任

東京大学、清華大学、ロンドン大学バートレット校、ミラノ工科大学、トリノ工科大学等、各大学院の客員教授を務める。著書に「風・光・水・地・神のデザイン」(彰国社)、世界遺産の建築を見よう(岩波書店)、ブータン伝統住居1巻、2巻、3巻(adp出版) 2008年から王国アドバイザーとしてブータンに通い調査研究・提案を行っている。

会場: 千葉工業大学 津田沼キャンパス 講演会会場: 4号館4階431教室、懇親会会場: 5号館6階大会議室
千葉県習志野市津田沼 2-17-1 JR総武線/津田沼駅、南口駅前(駐車場はございません。)

対象: 大学生、大学院生、一般の方、建築に興味のある方

参加費: 入場無料(定員280名。予約制ではありません。当日、先着順での入場となり、満席の場合は入場をお断りする場合があります。)

主催: 千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科

協賛: 千葉工業大学 PPA

問合せ: 千葉工業大学 田島研究室 (E-mail: info@tajima-lab.jp)

